

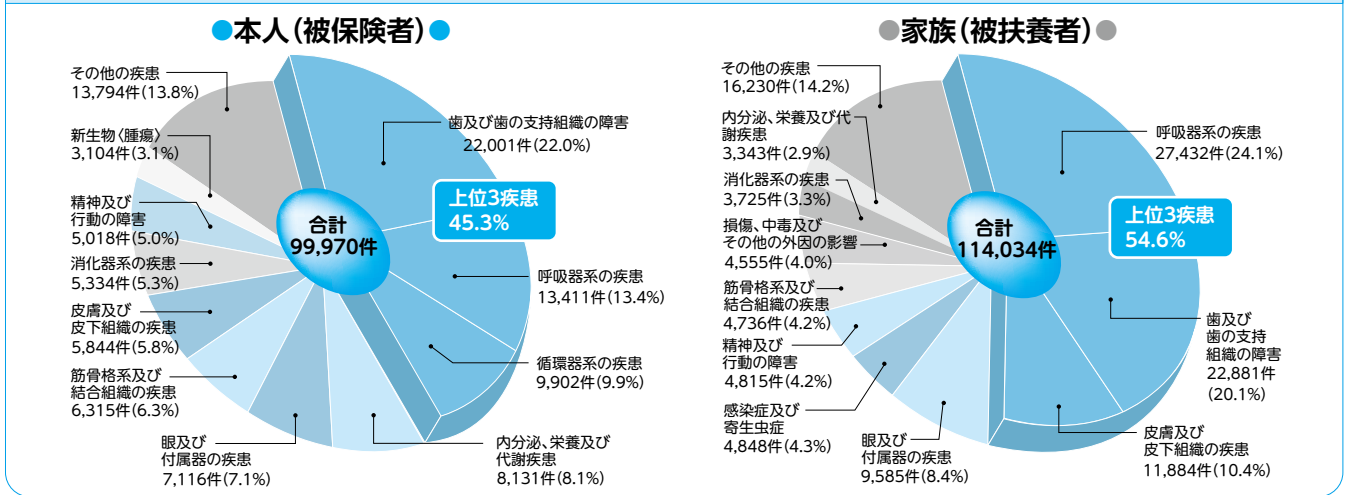
平成30年度 被保険者・被扶養者の疾病状況をグラフでみると

平成30年度の当健康保険組合の疾病状況をみると、上位3位は、本人では歯及び歯の支持組織の疾患、呼吸器系の疾患、循環器系の疾患、家族は、呼吸器系の疾患、歯及び歯の支持組織の疾患、皮膚及び皮下組織の疾患で、本人・家族ともに昨年と同じ順位でした。上位3位の全体に占める割合は、本人では全体の45.3% (29年度46.0%)、家族は全体の54.6% (29年度55.0%) を占めており、前年度に対し、ほぼ横ばいとなっています。

また、平成30年3月に1加入事業所の脱退があったため、合計数は本人・家族とも大幅に減少しました。

被保険者・被扶養者の疾病状況

(H30.3~H31.2)



平成30年度 100万円以上の医療費件数および疾病区分

当健康保険組合で平成30年度中に1ヵ月で100万円を超える医療費は214件あり、平成29年度と比べて52件減少しています。その内容は下表のとおりです。損傷、中毒及びその他の外因の影響が20件と昨年に比べて6件増加していますが、感染症及び寄生虫症は11件減少、新生物<腫瘍>は10件減少となっています。

昨年は700万円~1,000万円以上の医療費件数が6件発生していましたが、平成30年度は発生していません。

疾病区分	金額と件数		100万円以上		200万円以上		300万円以上		400万円以上		500万円以上		600万円以上		件数計
	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族			
01: 感染症及び寄生虫症	1	1	1	1					1					5	
02: 新生物(腫瘍)	48	16	5	6	2									77	
03: 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害														0	
04: 内分泌、栄養及び代謝疾患		7												7	
05: 精神及び行動の障害		4												4	
06: 神経系の疾患		6												6	
07: 眼及び付属器の疾患	1	1												2	
08: 耳及び乳様突起の疾患														0	
09: 循環器系の疾患	20	6	7	4	3			2			1	1		44	
10: 呼吸器系の疾患	3	1												4	
11: 消化器系の疾患	3	2												5	
12: 皮膚及び皮下組織の疾患														0	
13: 筋骨格系及び結合組織の疾患	3	6	1		1									11	
14: 腎尿路生殖系系の疾患	1					1								2	
15: 妊娠、分娩及び産じょく		5												5	
16: 周産期に発生した病態		9		5	3			1						18	
17: 先天奇形、変形及び染色体異常		2		1							1			4	
18: 症状所見等で他に分類されないもの														0	
19: 損傷、中毒及びその他の外因の影響	12	6	2											20	
合計	92	72	16	17	6	4	3	1	0	2	1	0		214	